

## 12. USBドライバのインストール

NS-Survey (Ver 2.1.0以降)では、NetSurvG6のUSBポートを経由して静止測量データをインポートすることが可能です。このためのドライバをPCにインストールする必要があります。WINDOWS XPを例として、インストール方法を示します。

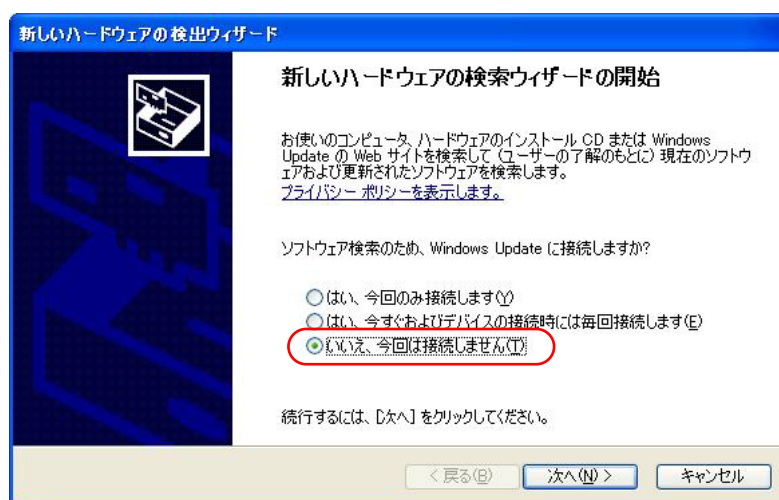
- ① NetSurvの電源を入れます。
- ② 接続するPCを起動してください。
- ③ USBケーブルでPCとNetSurvを接続してください。検知しない場合は、受信機の電源を切り、接続したまま電源を入れ直してみてください。
- ④ PCがNetSurvを検知します。



文字は上図とは異なる場合があります。

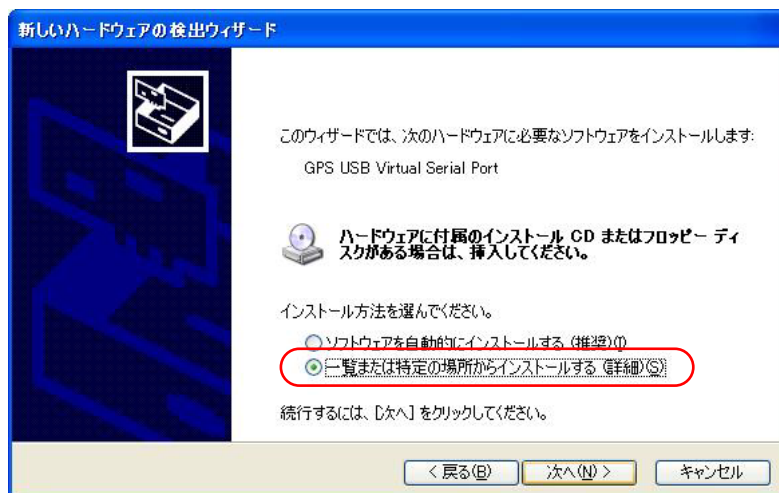
新しいハードウェアの検索ウィザードの開始

「いいえ、今回は接続しません(T)」を選択し、次へ(N)を押下します。



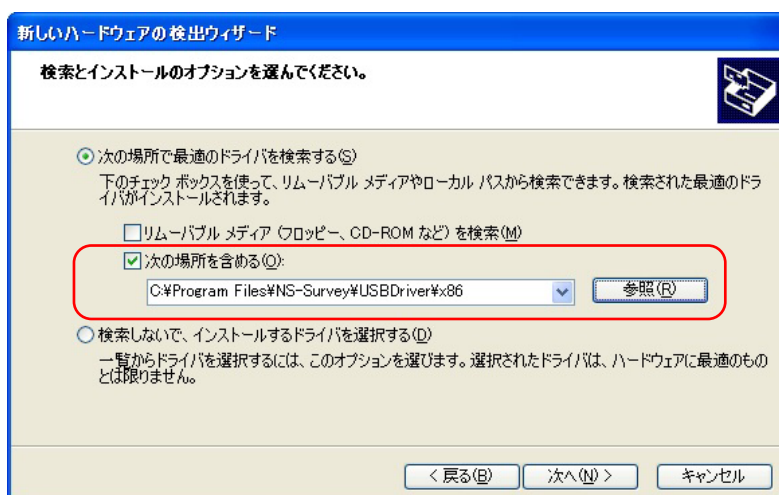
⑥ インストール方法の選択

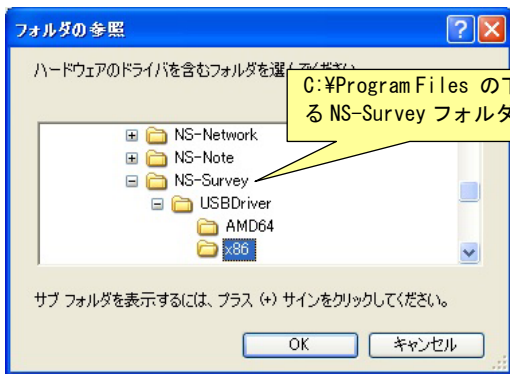
「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）(S)」を選択し、次へ (N) を押下します。



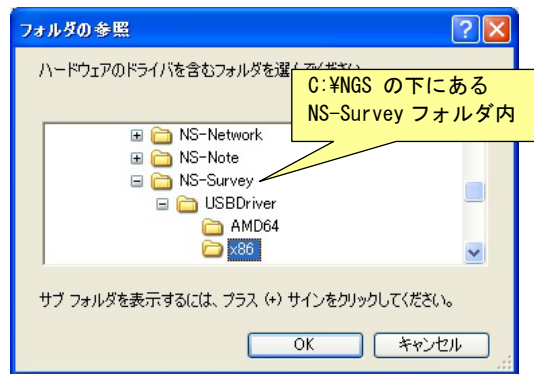
ドライバーソフトの指定

「次の場所を含める (C) :」 をチェックし、参照 ボタンを押します。





【Windows XP まで】



【Windows Vista 以降】

C:\Program Files\NS-Survey\USBDriver\x86 を選択し、OK を押下します。

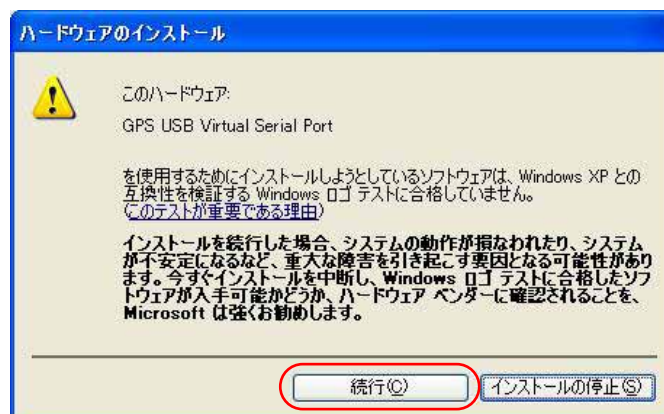
※64 ビット OS の場合は AMD64 フォルダーを選択してください。

OS が Windows Vista 以上の場合はパスは “C:\NGS\NS-Survey\USBDriver” となります。

NetSurvG6 対応の NS-Survey がインストールされている必要があります。

⑧ ファイルコピー（自動）

ロゴテストの不合格警告がでますが、「続行 (C)」を押下し、続けます。



ファイルのコピーが自動で行われます。



ファイルのコピーが完了しますと完了です。



⑨ 完了

完了を押します。

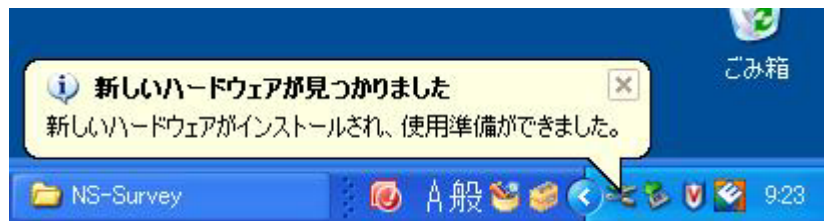
⑩ 繰り返し

USB ポートに 3 本の仮想シリアルポート (Virtual Serial Port) を生成するため、ハードウェアの検知が自動的に 3 回行われます。

(手順 ④ ~ ⑨ が 3 回繰り返されます)

⑪ 使用準備完了

PC 画面右下隅に 使用準備完了の告知が表示されます。



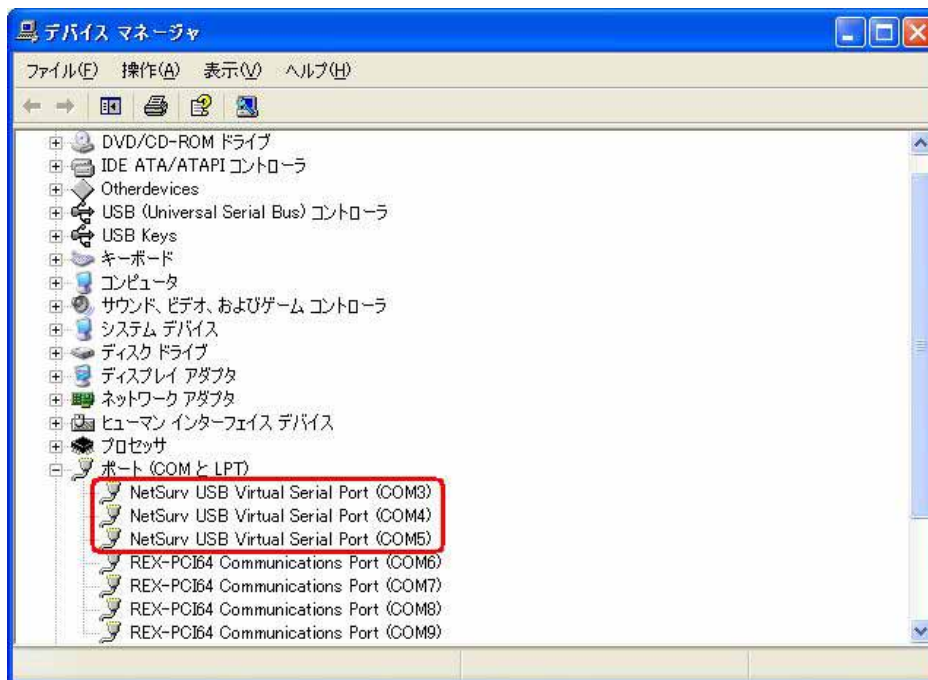
⑫ 確認

コントロールパネル (メニュー) → システム (アイコン) → ハードウェア (タブ)  
デバイスマネージャ (ボタン押下) でシステムのツリーを表示します。

ポート (COM と LPT) の箇所に

NetSurv USB Virtual Serial Port (COM \*) が 3 つ表示されていれば完了です。

COM 番号はご使用の PC の状況により異なります。



USB ドライバーは、Windows /95/98/98SE/ME/NT では動作保障対象外となっています。